

見える化要件・職場環境等の取り組み

社会福祉法人幸徳会 一宮デイサービスセンターは、介護処遇改善加算Ⅰを取得しています。また、厚生労働省が例示する福祉・介護職員等の労働環境を改善するための職場環境等要件について以下を実施しています。

1. 入職促進に向けた取り組み

- 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化

→法人及び事業所の事業計画の中に、運営方針、重点目標、研修、行事計画が盛り込まれており、計画に沿って各部署運営を行っている。

- 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築

→年齢及び資格を問わず積極雇用を実施

2. 資質の向上やキャリアアップに向けた支援

- 働きながら介護福祉士等の取得を目指すものに対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引等研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等

→働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する研修の受講支援。

- 各種研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動

→面談の機会を設け本人の希望を確認しながらキャリアアップできるよう支援している

3. 両立支援・多様な働き方の推進

- 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業補償制度の充実整備

→法人就業規則により、育児・介護等の特別休暇を定めている。

- 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備

→法人終業規則により、育児・介護規程で短時間勤務制度を定めている。また非正規職員から正規職員への転換整備

4. 腰痛を含む心身の健康管理

- 業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実

→職員向けの相談窓口を設置

- 短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業者のための休憩室の設置等健康管理対策の実施

→非常勤も含めた全社員に対して健康診断とストレスチェックを実施

5. 生産性向上のための業務改善の取組

- 厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築を行っている

→外部の研修の活用

- 5S活動等の実践による職場環境の整備を行っている。

→5Sを理解し職員一人一人が、何のためにやるかを理解し職場環境を整備する。

- 介護ソフトの導入

→介護ソフトを活用し業務の効率化を図っている

6. やりがい・働きがいの構成

- ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善

→毎日の夕礼の申し送りをはじめ、職場の環境を更によくする案を出し合う事を課題にいれている

ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供

→利用者やその家族からの謝意等の情報を共有している